

清水三郎 しみず さんろう 新聞記者、演劇評論家。明治四十四年七月（二十和歌山縣生れ、昭和四十四年五月四日歿（一九二一六九）。昭和十年早稲田大學文學部卒。翌年朝日新聞社入社、三重縣宇治山田市通信部に配属。十四年應召、十五年山西省の戦闘で負傷。二十一年大阪本社藝芸部に轉じ劇評と執筆、新劇關係を擔當した。

遺稿集 『ある新劇記者のしごと集』（昭和四十六年十一月二十日）アトロ）刊。

